

フットボールの時間

豊嶋了子と丸高演劇部

井上通子	丸亀高等女学校	教諭(物理担当)	女性	28歳
アサノ	丸亀高等女学校	一年生	女性	12〜13歳
佐登子	丸亀高等女学校	四年生	女性	15〜16歳
智恵	丸亀高等女学校	四年生	女性	15〜16歳
富貴子	丸亀高等女学校	一年生	女性	12〜13歳
マツ	丸亀高等女学校	一年生	女性	12〜13歳
タケ	丸亀高等女学校	一年生	女性	12〜13歳
ウメ	丸亀高等女学校	一年生	女性	12〜13歳
ツル	丸亀高等女学校	一年生	女性	12〜13歳
フジ	丸亀高等女学校	一年生	女性	12〜13歳
宇田先生	丸亀高等女学校	教諭(裁縫担当)	女性	41歳
智恵の婚約者			男性	24歳
学校職員			男性	40〜50代
女学生の父母たち				

※【季刊高校演劇二四六号長野大会特集号】に掲載されたものから改変が加わり、第六十四回全国高等学校演劇大会で上演した時点の、最終版の戯曲です。

丸亀高校前身校の一つ・丸亀高等女学校の学生たちがサッカーを楽しむ写真が発見されたのが二〇一一年。元校長の馬場康弘先生が退職後こつこつと学校に残された資料を整理・研究し続けたところ、当時の丸女サッカー事情が見えてきました。大正九(一九二〇)年一月一日に、それまで女学校にあったフットボール(サッカーボール)が全て廃棄された記録が残っているのですが、同じ年の一月一三日に、運動会の競技の一つにフットボールが取り入れられたという新聞記事と写真が発見されました。なぜこのようなことが起こったのか。そのことを部員・顧問一緒になって考え、少ない資料の中でフィクションも加えながら創作した作品です。二回目の東京オリンピックを控え、歴史の教科書に載ることはないけれど、確かにその時起こった史実を元に、そして当時の撫子たちに思いを馳せて作りました。

丸亀市は今『女子サッカー発祥の地』ということで盛り上がっていますが、これは決して、香川県だけの話ではないと、思っています。

第一幕 フットボール黎明期

振鈴の音。開幕。

地明かりは中央のみ。周囲はブルー。

舞台中央で袴姿の女子たちが輪になってグルグル歩く。

歩く速度がゆっくりになり、ほどなくして輪の女子たちは背を向けて正座する。

正座した女子たちは、裁縫、生け花、習字など、『花嫁修業』を行う。

井上

これは？・・・フット、ボール。

輪の中の井上通子は女学生。

井上は右を見て、左を見て、また右を見ながら指をさす。

井上

ゴール。あそこに、このボールを入れたら、得点。そうか、矢を射って、的に正確に当てるほど得点がいいのと同じですね！正確でなくてもいい。正確でなくとも、とにかくボールを入れたらいい。なるほど。でしたら、ゴールは（右をさし）あちらと（左をさし）あちらにあるからたくさん得点できそうですね。（左をさし）あちらに入れたらダメなのですか！？え、相手の得点になってしまう？（右をさし）こちらに入れないとダメ。（左右を見て）はよく似ているから覚えられるかしら・・・え？手を使ってはいけない？では、どうやってこれを移動させるのですか・・・えええっ！こ、こ、これを、足で・・・足で蹴るのですかあ！？本当に足？え、そんな行儀の悪いこと、して良いのですか校長先生！？

勢いよくボールを蹴る音。

ボールの軌道を目で追う井上。

正座している女子たちも手を止めて、同じように軌道を追う。

ボールがゴールに入った模様。

正座している女子たちはそのまま動きが止まる。

井上

（拍手をしながら）おおおおおーっ！・・・すごい・・・足・・・

井上は袴の裾を少し持ち上げ、蹴る動作をする。

周囲の女子たち、同時に立ち上がり、足を広げる。

女 足、足、足、足・・・
女たち 足、足、足、足・・・(足元を見る)
女 とじ、とじ、とじ、とじ、閉じて・・・
女たち とじ、とじ、とじ、とじ、閉じて・・・(足を閉じる)

女子たちは同じ方向を向き、元気よく行進しながら大声でセリフを言う。

女 吾等元気な
女 大和撫子！
女 寝ても覚めても
女 大和撫子！
女 絶賛花嫁修業中！
女 Yeah!
女 嫁ぐ相手を募集中！
女 Yeah!
女 言葉遣いは上品に！
女 常に男の後ろにいなさい！
女 足を広げちゃいけません！
女 足は正座をするものです！
女 なんか窮屈
女 なんか窮屈
女 足、足、閉じて
女 足閉じて！
女 足、足、閉じて
女 足閉じて！
女 足でボールを蹴るですと！？
女たち なぬ！？
女 それマジやべえ！マジやべえ！
女 やべえ！
女たち それマジやべえ！マジやべえ！
女 やべえ！
女たち それマジやべえ！マジやべえ！

全員、足を思い切り広げて立ち止まる。

女 ころ。早く、足を、閉じなさい。

井上以外足を閉じて座り、また裁縫やお習字を始める。
井上、周囲を見渡すと、一人が手を上げている。

井上 ……どうしたの？

女 正座の後、思い切りボールを蹴ると、どんな気分ですか？

音楽『THE NAME OF THE GAME』C.I.

周囲の女子、足がしびれて、足を崩して自分の足をさする。

井上、戸惑うが、校長先生に何か言われた模様。

井上 私たちの、新しい、時代……

全員思い思いに立ち上がる。

前奏が終わり、「オーレー」と歌い出すタイミングで地明かり全っC.I.

同時に、井上以外の女子たちは音楽に合わせて躍動し、驚く井上。

第二幕 アサノ勧誘

時代は明治39年（1906年）から大正9年（1920年）へ。

アサノ以外は校舎のセット移動へ。

アサノ 「サッカーの話？え？何時代これ？」って思いますよね。はい。ここは大正九年、一九二〇年。四国は香川県にある、丸亀高等女学校です。そこそこ裕福で、そこそこ勉強ができて、そこそこ真面目な女子たちが進学してくる学校です。驚くべきことに、明治時代から体操の授業、未来でいう体育の授業にサッカーが取り入れられていて、朝や放課後になるとやりたい人が好きに練習しています。これは、サッカーがフットボールと言われていた時代に、懸命にボールを蹴り続けた女学生たちの、大正のなでしこたちの物語です。

女学生が二人、校舎の前を歩く。

アサノ、閉まっていた校舎の扉を全部開ける。

校舎からまず佐登子がボール（エア―）を持って走って出て来る。

それに驚いて立ち止まる二人の女学生。顔を見合わせる。

佐登子 講堂の前まで行つとくでーっ！

佐登子が上手に走り去った直後、智恵も中から出て来る。

先ほどの女学生二人が歩き始めた瞬間に智恵が飛び出てきて、また驚く二人。

アサノ 今のが四年生の佐登子お姉さま。

智恵 佐登子、もつと左ー！

アサノ こちらが四年生の智恵お姉さま。

智恵 もつとーっ！

アサノ 二人は毎朝ボールを蹴っていました。

智恵 そこでええよーっ！

智恵は下手へと走り去る。

二人の女学生は顔を見合わせて歩き去る。

アサノ 二人が蹴ったボールはびっくりするくらい跳ぶんです。

キック音。

滞空時間の長いボールの軌道を目で追うアサノ。

智恵まで届いた瞬間、興奮気味にジャンプしながら手を叩くアサノ。

井上が中から出て来る。

アサノ すごいすごい！すごいです！勇ましいです！ハイカラな香りが致します！私が毎

朝飽きもせず見ていたものだから、

井上 やってみたいんでしょう？

アサノ え？

井上 一緒にやればいいじゃない。あなたも練習すればあのくらい飛ぶようになるわ。

佐登子と智恵、アサノと井上に近付く。

アサノ 本当ですか！？
井上 遠慮することないわ。さあ、一緒にやってみな・・・
アサノ やりますっ！
佐登&智恵・・・え？
アサノ やらせてください先生！
智恵 ほんまに？
アサノ え？あ、はい。
佐登子 ほんまにやるん！？
アサノ え？ダメなんですか・・・
智恵 いいに決まってるじゃない！

大喜びの佐登子と智恵。

井上 私は井上です。井上通子。
智恵 フットボールを教えて下さりよんで。
アサノ おお。
智恵 先生は女学生の頃からフットボールをされよんで。
佐登子 今の校長先生が赴任された、十五年前から。
アサノ 十五年前に女学生？ひ、ふ、み、よ・・・
井上 年を数えない！
智恵 私、本当に尊敬しておりますの。女だてらに一家の大黒柱として、ご家族を養われ
て。物理の授業も素晴らしいし、私たちのことも気にかけてくださって。
佐登子 よっ！丸亀一の孝行娘！
井上 持ち上げてもなんにも出ませんよ。
智恵 先生のこと、通子先生って呼んだらええよ。
アサノ 通子、先生。
井上 はい。あなたのお名前は？
アサノ アサノです。横田アサノ。一年です。
佐登子 アサノ！
アサノ 佐登子、先輩。
佐登&智恵 おー。
アサノ アサノ。
智恵 智恵、先輩。
佐登&智恵 おーっ！
智恵 かわいい後輩ができたんやな。
佐登子 よーし、ボールの蹴り方から教えたいで！
井上 そのーまーえーにっ！
アサノ え？
井上 仲間をもっと増やしましょう。そうねー、ゲームができるくらい、いっぱい。

智恵 ゲーム！？
佐登子 やりたい！
智恵 でも同好会で知らない私たちん所に人は集まるんでしょか。
井上 一番フットボールをしなさそうな人を狙うんです。その人が仲間になれば、一気に数が増えるわよ。手段は・・・選ばなくていいわ。

佐登子と智恵、アサノの肩を叩いて頷き、井上と共に去る。

第三幕 富貴子勧誘

アサノ 物騒なことになってしまいました。私はクラスで一番お金持ちで一番無口で、一番ノリの悪い、富貴子に声をかけることにしました。

富貴子登場。

アサノは上品にゆっくり歩く富貴子にまわりつくように声をかける。

アサノ 富貴子ええなー自転車通学、ハイカラー。

富貴子 (歩く)

アサノ 富貴子の着物、素敵な柄やんなハイカラー。

富貴子 (歩く)

アサノ (富貴子の匂いをクンクン嗅いで) 匂いもハイカラ！

富貴子、一度止まってアサノを一瞥し、また歩き始める。

アサノ そんなハイカラな富貴子やったら、フットボールも好きに決まっとるよなー。

富貴子 (歩く)

アサノ ・・・・そっか。あー体操終わってすぐに飲んだら美味しいんやろなーカルピス。

富貴子 カルピス・・・(ピタッと止まる)。

アサノ カルピス、あれ美味しいよな。甘酸っぱい、初恋の味？破廉恥うふふふ。

富貴子 カルピス・・・(痺れている)。

アサノ カ、カルピス、好きなんや。

富貴子 うん！

アサノ フットボールは好きじゃないん？

富貴子 (再び歩き始める)

アサノ　でもさ富貴子、さっきの授業（キックのふりして）けっこう楽しそうやったよな。
な、一緒にフットボールやらん・・・
富貴子　（力いっぱい）絶対やりません！
アサノ　・・・どうしても？

富貴子、アサノの前で手を広げる。

アサノ　え？

富貴子、一本ずつ指を折りながらまくし立てるように喋る。

富貴子　走るのには疲れる！日に焼ける！髪が乱れる！ボールの泥で汚れる！そして！
アサノ　そして？

富貴子　（力説で）あんなに大きなボールを蹴っていたら、大根足になってしまいわ。お嫁
に行けなくなる！それに！
アサノ　それに？

富貴子　校長先生と井上先生以外の先生は、あまりいい顔していませんよ？特に宇田先生
とか、あからさまにぐちぐちうたうた言うじゃない。

アサノ　・・・今のダジャレ？
富貴子　・・・ダジャレ言った？
アサノ　宇田先生が、ぐちぐち、（大声で）うたうた。

富貴子　あ・・・
アサノ　宇田先生が、ぐちぐち、
富貴子　・・・うたうた。

宇田先生、校舎の中から玄関までやってきて立ち止まる。

アサノ、富貴子のダジャレに笑顔になる。

富貴子もつられて笑顔になり、二人で笑う。

アサノ　（宇田先生のモノマネで）お裁縫、おうちで練習しないからできませんのようだう
だうだうだ。（素に戻って）あー、次の授業なんやつけ？

宇田先生　裁縫です。

アサノ　（富貴子に）え？ほんまに！？

宇田先生　お裁縫道具は？

アサノ　はっ！忘れたかも・・・。

宇田先生 宇田先生に怒られるわよ。

アサノ (立ち上がり) なんとなく縫いよるフリでもしとくわ。(玄関前で宇田に気付き) わーっ！

宇田先生 ご機嫌ね。

アサノ ははははい！ご機嫌麗しゆう宇田先生！へへ。ではっ！(去ろうとする)
宇田先生 また袴にしわが！いつも言っているでしょう寝る前に布団の下に敷いて寝押ししなさいとうだうだうだうだ。

アサノ (小声で) すみません。

宇田先生 どうしてそんなにしわがつくのかしらうだうだうだうだ。

アサノ 私の袴は綿織物なんだしわがつきやすくて・・・

宇田先生 言い訳はよろしいっ！

アサノ はいっ！

宇田先生 まさか、その格好のまま、球蹴りに興じているんじゃないでしょうね。

アサノ 球蹴り？

宇田先生 球蹴り。

アサノ 球蹴りではありません。フットボールです。

宇田先生 球を蹴っているではありませんか。正装の袴のまま、やっているのではないでしょうね。

アサノ それはな・・・

富貴子 蹴鞠は！・・・蹴鞠は、飛鳥時代から伝わる伝統的な貴族の風習です。鞠を見ているだけで、ほんに、雅な気持ちになりますー。(なぜか京都弁)

宇田先生 ……お裁縫道具、どなたかに借りておくのですよ。

宇田先生、大きな咳払いをしながら校舎に去る。

アサノ 富貴子、ありがとう。

富貴子 別に、めんどくさかっただけよ。

アサノ 球蹴りやって。ちゃんと、フットボールって名前があるのに。

富貴子 カルピス。

アサノ え？

富貴子 カルピス、あなたのお家でご馳走してくれるなら、見に行ってもいいわよ。

アサノ ホンマに！？

富貴子 毎回カルピスよ。あと、見るだけだから。

アサノ ……富貴子の家にはカルピスないん？

富貴子 虫歯になるからって、飲ませてもらえないの。

アサノ そうなんや。じゃ、うちでいっぱい飲もう！

富貴子 え？

アサノ がいに濃い味の作ってあげるきん！

富貴子 ほんまに？

アサノ うん！

富貴子、笑う。

アサノ え？

富貴子 ちよっとだけ、悪いことしてるみたいで、ワクワクします。

二人、笑う。

アサノ じゃあうちに来る時は宇田先生に見つからんようにな。寄り道はまた怒られるけん。

富貴子 うだうだ？

アサノ うだうだ。

二人 宇田先生。

二人は大声で笑いながらベンチに座る。

宇田先生がすぐさま戻ってくる。

宇田先生 そういえば

二人 はいっ！

宇田先生 (ベンチを指して)そこ、先ほど鳥の糞が落ちていましたから、座らない方がいいですよ。(去る)

二人 えーっ！

二人は「ついてない!？」などとお互いの袴を見合う。

そのまま富貴子は校舎に入る。

アサノ ハイカラカルピス娘の富貴子は、女学校を卒業したらそのままお嫁に行くことが決まっていました。卒業を待たずにお嫁に行く人もいます。これも、本当です。私もいつかお嫁に行くのかなあ。全く想像できませんけど。あ、富貴子効果は絶大でした。富貴子が練習を見ていると、こんな噂が立ったのです。

アサノが話している間に佐登子、智恵、富貴子がやってくる。

佐登子と智恵はボールを蹴り、富貴子は入り口付近で姿勢よく立っている。
マツ、タケ、ウメ、ツル、フジがやってくる。

マツ 富貴子また見よる。

タケ ホンマヤ。

マツ はしたない！

タケ はしたないって、授業ではみんなやりよるやん。

マツ そうやけど。

フジ 見よるだけでは大根足にはならんで。

マツ 見よるだけでも、はしたないのがうつりそう。お嫁の貰い手がなくなるわ。

ウメ 富貴子様はもうお相手が決まっとるきんえんちゃうん。

マツ そうやけど。

ツル フートボールのお姉様たちも、結婚のお相手が決まっとるらしいな。

マツ そうなん？

ツル 富貴子のお父様のお力で、財力のある素敵な殿方を紹介してくれたらしいで。

マツ えーっ。

ツル しかも、東京の（発音良く）ハンサム・ボーイ。

四人 （同じ言い方で）ハンサム・ボーイ。

マツ ほんだら、アサノも婚約を？

ツル、頷く。

ウメ まさか！

フジ あのアサノが？

タケ あのアサノやで？

ツル （発音良く強く）ハンサム・ボーイ。

五人、顔を見合わせる。

タケ フートボール・・・

五人全員 （手を挙げて）やるーっ！

やる気になった女学生たち、富貴子を取り囲む。

富貴子は表情を変えず、そのまま立っている。

アサノ 　　いかなる理由であれ、通子先生のご助言のおかげでこんなに仲間が増えました！

第四幕 裁縫の時間

男が振鈴を鳴らしながら通り過ぎる。

男 　　午後の授業の始まりですよー。

振鈴の間、佐登子と智恵、数名の女子は去り、残った者は正座をして裁縫の授業。
宇田先生は竹の物差しを持って女学生の周りを歩く。

宇田先生 　襟（えり）と衿（おくみ）の縫い目が見えないように。

女子たち 　はい。

宇田先生 　実際に袖を通すご様子を思い描きながら、心を込めて縫いましょう。

女子たち 　はい。

宇田先生 　・・・横田さん。

アサノ 　　はい。

宇田先生 　縫い目が見えています。

アサノ 　　すみません。

宇田先生 　そしてその見えている縫い目が大きすぎます。

アサノ 　　すみません。

宇田先生 　将来の大切な旦那様がどんなお気持ちで袖をお通しになるか、想像しながら縫っていますか。思いやりの心というものは、

アサノ 　　あー・・・（もじもじ）

宇田先生 　何です？

アサノ 　　足が・・・（しびれた）

宇田先生 　我慢なさいっ！

アサノ 　　はい・・・（むずむず）

宇田、アサノをしばらく見る。

その間、アサノは我慢する。

宇田がアサノから離れ、それを見てあっかんべーをし、足を崩すアサノ。

しかしすぐさま宇田がアサノの所に戻り、アサノは慌てて正座をする。

宇田を恨めしそうな目で見るアサノ。

宇田は、哀れな目でアサノの容姿を見る。

宇田先生 球蹴りなんかしているから、男女（おとおんな）みたいになってしまつて。

アサノ え？

宇田先生 そのうち、殿方のやるものはあれもやりたい、これもやりたい、何でもやりたいつて言い出すに決まっています。ほんと、先が思いやられます。（離れる）

アサノ おとおんなって・・・

宇田先生 女が、その、なんですか、フットボールとやらをやるなんて、この女学校くらいのものです。校長先生のお考えがさっぱり分かりません。男性には男性の、女性には女性の本分というものがあります。女性はしとやかな大和撫子として男性を支えて生きていく。それなのに、フットボール！あんなもの、男性がやる競技じゃないですか！ハイカラ気取りにも程があると、みなさんも、そう思いにはなりませんか？

アサノと宇田のやり取りを見ていた女学生たち、慌てて裁縫を再開する。

宇田先生 着物は上手に縫えば、五十年、いや百年先だって着られます。

アサノ ……フットボールは

宇田先生 着物には流行り廃りがありませんから。着物には。

アサノ フットボールだって、

宇田先生 良妻賢母っ！良き妻、賢い母になるために、心を込めてお裁縫をしましょう。

女子たち はい。

顔を歪め、我慢できなくなつて崩れるアサノ。

驚く周囲。

富貴子 アサノ！？

アサノ シービーれーたあくっ！あああああくっ！うあああああくっ！

第五幕 男だったら

アサノが倒れたまま悶絶している間、アサノ以外は消える。

すぐに佐登子と智恵が登場。

アサノは突つ伏して泣いている。

智恵 そんなこと言われたん？

佐登子 誰がハイカラ気取りの男女よ。宇田先生こそ低いお声でまるで男女やわ！厚化粧でおばけみたいな顔して、自分がお嫁に行けんきんって、未来のある私たちに八つ当たりしよんじゃわ。

智恵 こら！どこで聴つきよるかわからんで。

佐登子 あーつまらないつまらない。

智恵 佐登子も去年、言われたよな。確か、そのベンチで。

佐登子 思い出した。ここ（ベンチ）でお弁当食べよったら「足を閉じなさい！」っていきなり怒鳴られて、それからずっとお説教。

智恵 そうそう。

佐登子 「どうやったらそんなに足が広がるの！男女ですか！」ってうだうだ。

智恵 佐登子がさ「では先生、足を閉じたままでは歩くことができませんがいかがいたしましょう」って言うたら、……ふふ。

佐登子 （立ち上がり、モデルのように歩き）「開いてないでしょ？」

智恵 （笑いをこらえて）しかも、その後には！

佐登子 「私は、宇田先生のおっしゃるるように真の良妻賢母になるため日々精進しております。賢母となるためには、まずは立派な男子を出産しなければなりません。そのためには、足腰を鍛えることが何にもまして重要と考え、それゆえに好きでもないフートボールに励んでおります。宇田先生は、この点におかれましては、どのようにお考えでしょうか？」

二人、爆笑寸前。

アサノ ウダウダ、なんて言うたんですか？

智恵佐登子 （一緒に低い声で）「ほごほごに」

アサノ まあ！

二人、爆笑。

佐登子 あん時の顔つたらなかつたよな！

智恵 あの先生、成績がええ学生にはあんまり強く言わんのや。

アサノ 確かに。富貴子には言わん……

智恵 やろ？

佐登子 だけん私勉強したで。おかげで今は全科目で甲もらいよる。

アサノ 全部甲！？

智恵 頑張ったもんな。

佐登子 まあ今の私があるんは宇田先生のおかげやな。

智恵 感謝せんと。

佐登子 (勇ましく) 努力する者は皆平等。そこに男も女もない！

一同、拍手！

智恵 私、佐登子みたいな人のお嫁さんになりたいわ。

佐登子 男ちゃうわ！

智恵 わかっとるよ！

佐登子 男ちゃうけど・・・男やったら良かったのにつて、よう思う。やって、男の人は、

男だてらにとか言われることないやろ？やりたいことは自分で決めるやろ？不公平やわ。・・・そんな風に思ったこと、ない？

智恵 あるよ。うちのお兄様な、中学で野球やんりよったんやけど、夏んなったら毎年合宿に行っきよったん。ようけ練習するためにな。がいに楽しそうに行くけん『私も連れてって』つてせがんだら、『女が行くところちやう』つて叱られたわ。どうして女が行ったらいかんのか、説明してくれんかった。

佐登子 『女はダメ』つて、都合のええ言葉やな。あ、ごめん、その、お兄様のこと悪く言うつもりじゃ・・・

智恵 ううん・・・なあ、私たちも合宿やらん？

アサノ・・・合宿？

智恵 そう。フットボールの。

第六幕 合宿前のお話

女子たち「やるーっ！」と言いながら一斉に騒々しく登場。

富貴子は「が、がっしゅくつて」とか言いながらちよつと遅れて入って来る。

智恵 うちのお母様にお夕食にコロッケを作ってもらえるか頼んでみる。

佐登子 全員分？

智恵 もちろん！

みんな えーっ！

アサノ コロッケえ・・・！

マツ すごいなあ。

タケ 気合が入るなー。

フジ 楽しみーっ！

ウメ 夜は何しますか？

智恵以外、はしゃいで騒ぐ。

智恵 みんな！遊びに行くんとかちゃうんで。

佐登子 わかっとるけど。

智恵 昼間は、朝日が昇ってから運動場が見えなくなるまでボールを蹴る。

アサノ 一日中できるんですか？

智恵 そうやで。

アサノ すご！

智恵 夜は疲れとるんやけん、早く寝る！

佐登子 智恵は真面目やな。

智恵 真面目とかそういうんじゃないやなくて、一日中すきなだけフットボールができるんで。

こんなこと、合宿でないとできんやろ。

そうでした。ごめんなさい。

智恵 それに、女の私たちが合宿することを良く思わない人だっているはずよ。理解して

もらえるよう、私たちが真摯な行動をとらないと。

佐登子 そうやな。合宿の壁は高いな。

智恵 まずは合宿のこと、通子先生に相談せんとな。

あ、正式に合宿の許可が出るまでは、他の人には内緒にしとこうな。

(小声で) は〜い。

佐登子 特にアサノ！

アサノ わ、私？

佐登子 (易者みたいに振舞い) 宇田先生による受難の相が出てるわ。気を付けて。

アサノ ひっ！(顔をパンパン叩いて) 気を付けます！

『コロッケの唄』が流れる。

佐登子 あ、通子先生！

みんなが去る時に上手から井上が出てきて、佐登子たちから合宿の相談を受けながら去る。

アサノはその場で表情を緩ませ、嬉しそうに小躍りしている。

アサノ んふ。合宿。朝から晩まで。んふふふふ。うへへ。あ！

井上と宇田が話しながら上手から歩いてくる。
それを見てアサノは校舎の中に隠れる。
途中で止まって話す井上と宇田。
今か今かとそわそわしながら待つアサノ。
井上は宇田に礼をして、また上手に戻る。
宇田だけが校舎に近づく。
足音が聞こえて飛び出すアサノ。

アサノ あっ！（去ろうとする）

宇田先生 なんですか横田さん。ご挨拶は「あっ！」ではありません。

アサノ ごきげんよう、さようなら。（急いで去る）

宇田先生 何を急いでいるんですか？

アサノ （急ブレーキ）いえ、別に。

宇田先生 ちょっとお待ちなさい。合宿、なさるんですってね。

アサノ 何の、ことですか？

宇田先生 合宿です。わかっているでしょ。

アサノ え？いやー・・・たくさんあるものを小さく一つにまとめることです！

宇田先生 それは圧縮です。何を小さくするのですか？

アサノ いや、えー・・・絵の勉強をしに行く学校のことです！

宇田先生 それは画塾です。習いに行くのですか？

アサノ いやいや、えーっと・・・一般の方が営む宿です！

宇田先生 民宿です。

アサノ みんなで歌うことです！

宇田先生 合唱です。

アサノ 黒っぽい茶色です！

宇田先生 褐色です。

アサノ その色を抜きます！

宇田先生 脱色です。からかっていませんか！

アサノ い、いえっ！その、一つの目的のために仲間が寝泊まりすることです！

宇田先生 合宿です。

アサノ そう、それです！

宇田先生 合宿。

アサノ 合宿。朝から日が暮れるまで蹴り続けるんですよ。へへ！

宇田先生 あら？先ほど井上先生は、勉強のための合宿だとおっしゃっていましたよ。

アサノ、しまったという顔をする。

怪談の『ひゅーどろろろ』的音響。照明青。

宇田先生 (ゆっくりと) うくらくめくしゅ……
アサノ あの……ごめんなさい……
宇田先生 (大声で) やあああああああああつ！
アサノ ぎやあああああああああつ！

ストロボ。

女学生たちがみんな入ってきて、アサノの様子を目撃して固まる。

黒子が宇田の体に『良妻賢母！』と書かれた布をグルグルに巻く。

宇田先生

(まくし立てるように) 女は女らしく家庭を守り良妻賢母であるためにお裁縫やお料理やお作法をまずもって勉強していかなければならないのです！うだうだうだうだうだうだうだうだ……
あああ……あああああ……

黒子二人は宇田先生を持ち上げてそのまま去る。

照明は地明かりに。

智恵

……あはは。宇田先生、お元気よな。すごかったな。顔とか。えへへ。えーつと……
疲れたな。みんな、帰ろう。な……アサノ。

アサノ

……ごめんなさい。
合宿できんってわけやないんやし。

智恵

でも次の試験で全員が全部甲をとらんと合宿できんようになるんですよ。

アサノ

ちゃんと勉強したら大丈夫やって。

アサノ

全部の科目で甲とか無理ですよ。

佐登子

なんで喋ったん。

アサノ

な、なんで……

佐登子

なんで喋ったんよ。よりによって宇田先生に。

智恵

佐登子。

佐登子

うちはな、合宿できんことに怒っとるんちゃうん。うちの立場が弱なってしまふことに怒っとるん！……もう帰るわ。(去ろうとする)

富貴子

あの！……アサノが、頑張るって、言っています。

アサノ

え？

富貴子

いつも乙とか丙ばかりだけど今回は頑張ると言っています！

アサノ

成績がばれよる！

富貴子

この方が良かったわ。勉強もできるようになった上で合宿なんて最高です、と！

アサノ

ちよつと！

智恵 そうや。みんなですべて全部甲を取って、宇田先生を見返したらええんや。（佐登子を見て）それに、

佐登子 何よ。

智恵 佐登子、合宿でコロッケ食べるん楽しみにしとったんよ。な！

佐登子、凶星の顔。

佐登子 （情けない声で）・・・コロッケ。

みんなそれを見て笑顔になる。

智恵 絶対、合宿勝ち取りましょう。女である私たちが合宿をすることに、意味があるんだから。

佐登子 智恵。

智恵 富貴子。

富貴子 はい。

智恵 アサノに勉強、教えてあげて。

富貴子 （アサノに）カルピス。

アサノ ……用意しておきます。

『コロッケの唄』

女学生たちは手に教科書を持っているマイムで、みんなで小躍り。

アサノと富貴子が真ん中で教科書とにらめっこ。

アサノは勉強が嫌になって逃げ出すが、みんな逃げないようにアサノを止める。

みんながアサノに近寄る。

アサノ、何かが分かった様子。それに喜ぶ一同。

みんなが花弁のようにアサノから離れる。

アサノが喋り始める時、音響を絞り、去る女子たちはフットボールをする。

第七幕 合宿

アサノ コロッケは最高に美味しかった。あんなに美味しいコロッケは、後にも先にも食べたことがありません。合宿ではついに！富貴子もボールを蹴りました。

富貴子、ボールを思い切り蹴る（そぶり）。
それを見て全員大喜び。
全員でボールを追いかける。

アサノ　先生も入れて五対五で何度もゲームをしました。十人でいつまでもいつまでも、ボールを追いかけてました。真っ黒になった顔は、私たちだけの勲章でした。

井上と女子たち、アサノの後ろで何かを探している。

ウメ　この辺？ホンマに？

アサノ　んー・・・ここに飛んだと思ったんやけど・・・

タケ　高いんやろー。

マツ　舶来ものらしいやん。

ツル　一個八円するって聞いたで。

女子たち　えー・・・（ドン引き、また探す）

フジ　うちら、そんな高いもん蹴んりよったんやな。

佐登子　ドジね。

アサノ　ごめんなさい。でもまあそのうち出てきますよ。へへ。

井上　アサノさん！それはあまりにもいい加減ではないですか！

アサノ　え？

井上　ボールは家族や友達と同じです。フットボールはあなたにとって大切な存在ではないのですか？

アサノ　・・・大切にす。

井上　だったら、ボールを粗末に扱ってはいけません。必ず見つけるといふ気持ちでいなさい。

アサノ　すみませんでした。もう少し探します！

井上　でも今日はもう暗いし、また明日、みんなで探しましょう。

女子たち　はーい。

アサノ　本当にごめんなさい。

井上　私も少し言い過ぎたわ。

アサノ　夜は先生やお姉様たちと、いつまでもいつまでもお話しました。

起きているのはアサノ・佐登子・智恵・井上。
後ろで寝ている女学生たちに気遣いながら話す。

アサノ　では師範学校ですか？

佐登子　そう。科目は国語。で、うちも通子先生みたいに女学生たちにフットボールを教えるん。ほんで、智恵の教える学生たちと試合をするんが夢なん。(智恵に) な！

アサノ　智恵先輩も先生になるんですか？

智恵　え、あ、うん。

井上　(智恵に) 眠たくなつた？

智恵　いやあ、大丈夫です。

アサノ　やっぱり、智恵先輩も国語ですか？

智恵　私はね、物理か数学。

アサノ　すご！

佐登子　物理は通子先生にしゅっちゅう質問に行きよるもんな。

智恵　うん。

アサノ　すごいなー夢があつて。

井上　教え子が自分と同じ教師を目指してくれるなんて、私は果報者です。学問や大切なことが、こうして脈々と、何十年も教え継がれていくんですから。

アサノ　百年先もですか。

井上　きつとそうよ。

アサノ　着物の縫い方もですか？

井上　え？それは・・・

佐登子　西洋のお洋服の縫い方も習うようになるんちゃう？

アサノ　げっ！増えるんですか？おえ。

佐登子　よっぽど裁縫が嫌いなんやな。

井上　ミシンが縫ってくれますよ。

アサノ　み、みしん？

井上　西洋のお洋服は、手縫いではなくミシンという機械を使って工場で縫われているんですよ。

三人　へーっ！

井上　ミシンが家庭にも普及すれば、お裁縫は必要なくなるかもしれませんね。

一同、盛り上がる。

佐登子

お裁縫だけでなく、お料理やお掃除、お洗濯も機械がするようになったら、結婚したご婦人も時間ができて外で働けるんちゃうかな？

井上とアサノは盛り上がる。

智恵はハッとす。

アサノ　じゃあ、フットボール。フットボールは百年後どうなつとると思いますか？
智恵　百年後……

アサノ　流行りは、いつか廃れるんですか……？

佐登子　何あんた、流行りモンやからやんりよるわけ？

アサノ　そうじゃないですけど……

佐登子　たぶん、全部の女学校の体操に取り入れられて、部活動も盛んになつとるな。

アサノ　先生はどう思います？

佐登子　ちよつと聞いとん？

アサノ　聞つきよりますよお。

井上　ねえ、オリンピックって知ってる？

アサノ　オリンピック？

佐登子　スポーツで世界一を競う大会よ。

井上　そう。そのオリンピックにね、女子フットボールって種目が、できていると思う。

アサ&佐登　おー。

佐登子　アサノはどうなん？

アサノ　通子先生と一緒にです。

佐登子　もー。

アサノ　智恵先輩はどうですか？

智恵　……なくなつとると思う。

アサノ　……え？

佐登子　智恵？

智恵　ごめんなさい、私、何言よんやろ……。

井上、立ち上がる。

井上　正座の後、思い切りボールを蹴ると、どんな気分になりますか？

佐登子　え？

井上　どんな気分？

佐登子と智恵、顔を見合わせる。

アサノは立ち上がり、思い切り蹴る動作をした後、仁王立ち。

アサノ　とてつもなく爽快です！特に、裁縫の授業の後は。

井上、佐登子、智恵、笑う。

井上、アサノに近付き顔を近づける。

井上 アサノさんと全く同じです。私もね、お裁縫、苦手だったわ。
三人 えーっ！
佐登子 意外です。

富貴子がむくりと起き上がり、しばらく四人の様子を見る。

井上 女が生きる道は、座って裁縫や生け花をするだけではないわ。子供を産むだけではない。殿方の支えになるだけではない。自分で立ち上がった方が、世界が広く見えるはずよ。

佐登&アサ はい！

富貴子 ……ふあい。

アサノと佐登子、富貴子が起きていることに気付く。

アサノ 富貴子、こっち来る？富貴子？

富貴子、寝落ちする。

アサノと佐登子は顔を見合わせて笑う。

井上、智恵の様子がおかしいことが気になる。

井上 (智恵に) 練習すると、運動場にいっぱい足跡がつくでしょう。

智恵 足跡。

井上 足跡を見て「これは女の物だ！」と言う人はいますか？

智恵 ……いません。

井上 大地は誰の足跡でも受け止めてくれるはずですよ。いつかみなさんが広い世界に大きな足跡をつけてくれることを楽しみにしています。

智恵 ……はい。

アサノ 世界、かぁ。

井上 みなさん、オリンピックでは、金色のメダルを取った選手の国歌を歌うんですよ。

アサノ 国歌ですか。

井上 そう。世界一を称えてね。

佐登子 じゃあ、フットボール部が全国にできて、もし日本一になったら、校歌を歌うようになりますかね。

井上　　そうね。いつか、教え子たちと、そんな日を迎えたいわね。

井上、後ろで寝ている女学生たちに気を遣いながらも、テンポよく歌い始める。

讃岐の富士の朝ぼらけ

丸亀沖の夕月夜（ゆうづくよ）

あけくれ身をばきたひつつ

はげむものし吾等みな

（このあたりで三人も立って歌い始める）

※1

寝ていた女子たちが一斉に唸りながら寝返りを打つ。
歌を止める。4人は笑う。

井上　　素敵でしょ。

アサノ　　素敵です。

佐登子　　こんなに素敵なこと、もっと広がったらええのになぁ・・・。

佐登子、大の字になって寝る。

智恵　　佐登子？

それを見て智恵と井上は微笑み、大の字になる。

アサノ　　私はなかなか眠れませんでした。コロツケの余韻のせいでもなく、なんなく智恵先輩の横顔が寂しそうだからでもなく、とにかく眠れませんでした。こうして、私たちの夏が終わりました。

第八幕 結婚する二人

話している間にみんな次々と起き上がり、去る。

アサノもセリフが終わったら去る。

智恵のみ残って正面を向き、正座する。

一人の男がやってきて、智恵の近くに、智恵とは顔を見合わさない位置に座る。

二人は既に結婚が決まっている。

男 大変、優秀な成績を収めているそうですね。
智恵 めっそもございませぬ。

男 うちの弟なんか、甲より乙の方が多くて。

智恵 茂さん、でしたっけ？

男 毎日毎日、庭球ばかりやってますよ。

智恵 よろしいではありませんか。

男 いや、我が家の男子はみな帝大に行かなければならぬというのに、全く困ったもんです。神様は不公平だ。学問を納める必要のない女性のあなたに、そんな才覚を与えるなんて。

智恵 ……

男 少し、日に焼けておられますね。

智恵 (顔を気にして) その・・・すみません。

男 健康的でいいではありませんか。やっぱり、庭球、テニスですか。

智恵 フットボールです。

男 え？

智恵 フットボール。

男 女学校で、ですか。

智恵 ……はい。

男 一つ、お願いがあります。フットボールなんか二度とやらないと約束してください。そして、そのことについては、私の親族には一切話さないでいただきたい。特に、父と母には。

智恵 でも

男 女学校なんてさっさと辞めて、すぐにでも家に入って頂きたいところを、ここま
智恵 でお待ちしたんです。もう十分でしょう。

智恵 ……

男 あなたのような賢い女性を妻に持つことができ、僕は幸運な男だ。家のことも、
智恵 子供の教育も安心して任せられる。一緒に幸福な家庭を築きましょう。(去る)

智恵 ……はい。

智恵は一点を見つめている。

第九幕 フットボールの時間の終わり

アサノが登場し、話し始めたら智恵は立ち上がる。
佐登子登場。

アサノ 智恵先輩は秋になり、学校に来なくなりました。みんなに理由も告げず、突然。
佐登子 何だよ。

智恵は佐登子とすれ違いざまに去る。

佐登子 何だよ！

アサノ それから間もなく、とんでもないことが起こったのです。

女学生たちが「父」「母」と書かれたお面を被って舞台に登場。

女学生たちの親たちの声。

父 先ごろ市川房江や平塚らいてうが発足させた新婦人協会の活動に、井上通子先生が関わっていると噂になっています！

母たち「新婦人協会？」などと小声で怪訝に言う。

父 本当であればうちの娘を女学校に預けておくことはできません！

父 教員が政治行動を起こしてもいいとでも？

父 いいわけがない！

父 しかも、女風情が偉そうに。

父 フートボールを推進しているのも、政治活動の一環なのではないのか！

母たち「ええ！」「怖い」「信じられない！」などと言う。

父 まさか、うちの子はフートボールやってないだろうな！

母たち、更に過剰に反応する。

父 子供を利用して自分の地位向上を目指すなんて！
父 今すぐやめろ！

父母　　そうだそうだ！今すぐやめろ！今すぐやめろ！
アサノ　待ってください！通子先生はそんな先生ではありません。純粹に、フットボールの楽しさを、教えてくれているだけです！

アサノが話している間、父母たちは一度去る。
父が一人だけ、アサノに近付いてくる。

父　　まだ、フットボールをやっているのか？
アサノ　はい。フットボールをしている時は・・・
父　　お前・・・女だろ？

父、去る。
女学生たち登場。

マツ　　あの噂、ホンマなんやろか。
タケ　　通子先生、昨日から来てないんよ・・・
ツル　　うちの両親は政治行動のために授業を放棄しよるんやって言よったわ。
ウメ　　え、怖い・・・
フジ　　何かご存知ですか、佐登子先輩。

佐登子、うつむいて黙ったまま。
そこに宇田先生がやってくる。

宇田先生　　そんなところで何をしているのです。試験も近いのですから、うちに帰って勉学に励みなさい。

アサノ、立ったまま宇田をじっと見つめる。

アサノ　　あの・・・
宇田先生　　井上先生はお風邪を拗らせただけですよ。数日したらまた元気に学校に来られます。

女子たち、複雑な表情。

宇田は去り際にまた立ち止まる。

宇田先生　そうだわ。みなさん、校長先生がご退職されたのはご存知ですよね。

女子たち　（口々に）え？

マツ　いつですか？

宇田先生　先週末です。急なご病気だとかで。幸いなことに、新しい校長先生がすぐ来てくださいました。お会いしたらご挨拶なさるように。・・・お返事は？

女子たち　（口々に）はい。

佐登子　本当に、ご病気なのですか。

宇田先生　急な、ご病気だそうです。何か、おっしゃりたいことでも？

佐登子、走り出す。

宇田先生、去る。

アサノ　佐登子先輩！

佐登子は校舎の入口をくぐり、壁の向こうでボールを探している模様。

女子たちは後方一列に背を向けて並ぶ。

中央の人から線対称に足を「ドン・ドンドン・ドンドンドンドン」と繰り返して踏み鳴らす。照明は校舎側だけ地明かりが残り、それ以外はブルーにクロスフェード。

佐登子は「ない！ない！・・・」などと口にしながらボールを探し続けている。

踏み鳴らす音はどんどん大きくなる。

そして音は止まり、佐登子はボールが捨てられている状況に茫然とする。

佐登子　ない・・・

アサノ　校長先生がコツコツと購入してくださったフットボールは、新しい校長先生になっ
てから、全て、廃棄されたのです。体操の授業からも、フットボールはなくなり
ました。これも、本当です。

富貴子はアサノが話している間に去る。

マツ・タケ・ウメ・ツル・フジは前を向く。

アサノは五人の会話を見ている。

ウメ　フットボール、今日、行く？

フジ それは・・・
タケ フットボールなんかしよったら、一生お嫁に行けんよなるで。
マツ お母様言よった。足を広げて走ってばかりおったら、子供が産めんくなるって。

五人、「えー」「それはー」などと引いた反応。
佐登子が校舎の中からふらふらと歩き始める。

ツル 佐登子先輩、もう子供が産めんのちやう？
五人 ふふふふふ・・・(嘲笑)
アサノ ちよっと！(怒り)
マツ (佐登子を見て)しっ！来たで。

五人はいそいそと去る。
井上が通りかかり、それを見て佐登子、校舎から飛び出して来る。

佐登子 先生！・・・おかえりなさい。
井上 物理の予習、やりましたか？
佐登子 フットボール、まだできますよね！
井上 ・・・授業でお会いしましょう！
佐登子 先生、フットボールは・・・
井上 そんな時間があれば、女としての自分を磨きなさい。あなたは将来、結婚して妻となり、母となるのです。

佐登子は井上にしがみつく。井上は反応しない。
富貴子がやってくる。アサノたちを見てやや気まずそう。

アサノ 富貴子なんとか言うて！通子先生、人が変わったみたい。(井上に)まだお風邪が治っていないんですよね。
富貴子 通子・・・いや、井上先生、後ほど物理の質問にうかがってもよろしいですか。
井上 ええ。

富貴子と井上はすれ違って去ろうとする。

アサノ 富貴子待つてよ！フットボール・・・
富貴子 フットボールでは、幸せは得られません。

富貴子は振り返り、アサノの近くに寄り意を決して言う。

富貴子 女が足を広げて新しい時代を求めるなんて、はしたない。ましてやそれで勝ちたいだなんて、国の恥です。

アサノ 富貴子！（富貴子にすがって）お父さんに言われてわざと言よんやろ？な、そうなんやろ。もうやめよ。富貴子！

富貴子 こんなことなら、庭球にしておけば良かったわ。

アサノ 庭球やって走って疲れるし、日に焼けるし、髪やって乱れるし、フットボールと同じじゃないわ。

富貴子 同じではないわ。
アサノ じゃあ何。

富貴子 ……私、女学生のうちに特別な思い出が作りたかった。だから、あなたのこと応援していたの。それなのに・・・こんな惨めな思い出なんて、いらぬ。

アサノ 私が、悪かったんかな・・・ごめんな。でも、楽しかったやんか？一緒に走って、蹴って、楽しかったやんか？またカルピス一緒に飲もうよ！富貴子。富貴子！

富貴子去る。

井上はさすがに佐登子を優しく離し、校舎に去る。

第十幕 見つかったフットボール

カヤヒバリの鳴く音。

佐登子は校舎に向かってフラフラ歩き出す。

アサノ 佐登子先輩・・・佐登子先輩・・・

佐登子 私たち・・・何もせんでええみたい。何もせん方がええみたいやなあ。（音楽カッ

ト）楽やな、女って。

佐登子は格子を両手で握る。

またカヤヒバリが鳴いている。

アサノは声を殺して泣いている。

佐登子が格子から手を放すと、用務員さんがドロドロになったボールを持ってやってくる。入口に一度ボールを置き、竹の水筒の水を飲む。その様子を見ていたアサノ、地面のボールに釘付けになる。

アサノ　それ・・・(ボールに近付き)わ、これ・・・!

男　あん、塀の外の草むらの中に落ちとったん・・・

アサノ　ボールですよ。(佐登子に)フットボールですよ!

アサノ、ボールの泥を着物の袖で払い、『丸亀高等女学校』の文字を見つけてハツとする。アサノに構わず草抜きをする用務員さん。

アサノ　これ・・・私たちのフットボールですよ!

佐登子、アサノに駆け寄ってボールを確認する。

佐登子　合宿や。合宿でなくした・・・

アサノ　合宿・・・あ、あーっ!

佐登子　でも、見つかったら捨てられるわ。

男　あんたら、飽きもせず球を蹴りよった学生さんか。わしよ。球を全部捨てたんは。

佐登子とアサノ、男を見上げる。

男　新しい校長先生に言われての。穴を空けて空気まで抜けて言われたわ。何があつたか知らんがな、それも、またわしが空気抜くんかいな。・・・まあええんや。あんたらは女やけど、わしとちごて金もある、学校も行くてる。それだけで幸せなこどや。な。やからこれは、わしの仕事や。

佐登子、汚れたボールにしがみつく。

男　そないしたら、おべべが汚れるで。え。

佐登子　もう一回だけ・・・もう一回だけやりたいなあ。やっぱりどうしてもやりたい。やったらいかんのかなあ。女は、フットボールやったらいかんのかなあ。

アサノ 私も、やりたいです。

佐登子 やったら・・・

アサノ (力強く) 女の何がいけないんですか！女だって、やっていいと思います！

佐登子、アサノを見上げる。

アサノ 前の佐登子先輩なら、そう、言うと思います。私の大好きな佐登子先輩なら、そう、

言うと思います！

佐登子、意を決して立ち上がる。

直後に用務員さんも立ち上がる。

アサノと佐登子、同時に用務員さんの存在に再び気付く。

怯んだ佐登子に用務員は二歩、近づく。

男 そんなに蹴りたいなら、しゃあないんとかやうか。

佐登子、ボールをアサノに預けて校舎の中に消える。

校舎セット、全てはけて素舞台になる。

バック幕からホリ幕へ。

アサノ 佐登子先輩は学校に掛け合いました。退学も覚悟の上で、新しい校長先生を説得し

ました。そして、大正九年、一九二〇年十一月十三日、運動会の種目の一つに、フ

ートボールが取り入れられました。クラス対抗でボールを追いかける女学生たちの

写真が、百年近くたった未来で発見されました。

照明が薄暗くなり、スクリーンに大正のなでしこたちの写真が投影される。

アサノ でも、ここまでのお話で本当にはっきりしていることは、明治から大正にかけてフ

ートボールをやっていた女学生がいたこと、その時のボールが大正九年に全て捨て

られたこと、それから一ヶ月半後にフートボールをやっている女学生の写真が残っ

ていること、そして、それ以降はフートボールの記録が

スクリーンの画像が消える。

アサノ 一切残っていないことだけです。

第十一幕 佐登子の卒業

照明が元の明るさに戻る。

佐登子がやってくる。

アサノと二人で周囲を確認し、誰もいないとわかって笑顔でボールを蹴り始める。

アサノ 佐登子先輩、ご卒業おめでとうございます。

佐登子 ありがとうございます。

アサノ 先輩。

佐登子 何？

アサノ 私、女学校卒業したら、師範学校に行きます。

佐登子 先生になるん？

アサノ なります！

佐登子 科目は？

アサノ 科目は裁縫以外で・・・体操にします。体操の先生になって本格的に女学生たちにフットボールを教えるんです。そして、先輩の教える学生たちと試合をします。

勝ちますからね。

佐登子 生意気ね。

佐登子、アサノにボールを蹴る。

ボールはアサノの横をすり抜ける。

アサノ 佐登子。

佐登子 え？

智恵がアサノの後方に登場。誰にも見えていない。

アサノ 佐登子、卒業おめでとう。

佐登子 何で呼び捨てよ。

アサノ 元気にしよったん？
佐登子 何言よん。毎日学校で会って・・・
アサノ ごめんな、さよならも言えんで。

智恵がボールを持って登場する。

アサノ 楽しかったなあ。毎日毎日、明けても暮れてもボールを追って。気持ち良かったよな、ボールを蹴る瞬間。怒られんように勉強も頑張ったな・・・私の分まで勉強してええ先生になってな。

佐登子 え、何なん、え・・・

アサノ 聞いたよ。校長先生のこと通子先生のこと。通子先生な、フットボールをとるか、先生をとるか、迫られたんやと思うん。ほんで、教師として生きていくっていうこと選んだんやと思うん。やけん、恨んだらいかんよ。(ボールを蹴り)佐登子？
(ボールを止め)冗談じゃない。

アサノ 冗談ではないわ。

佐登子 冗談じゃないわ！なんで何も言わずに学校辞めたんよ！心配したんやけん！「お嫁に行くの」って一言言えばええやんか！

アサノ ...言えないわよ。

佐登子 言うてよ！お嫁に行ったら、うちら友達でなくなるん？友達まで奪われるん？ボールを追いかけたあの時間も嘘になるん？・・・ちやう。そんなん言いたいんちやう。

智恵・・・(表情なく)結婚、おめでとうございます。(深く礼)
・・・ありがとうございます。(深く礼)

佐登子と智恵は礼をしたまま泣いている。
先に頭を上げる智恵。

智恵 佐登子・・・笑って！

佐登子は頭を上げ、笑おうとするが、込み上げて大泣きする。
智恵が先に去る。

佐登子は涙をぬぐい、大きく息を吸って自分を落ち着かせてボールの元に行く。

佐登子 (ボールを蹴り)フットボール。

アサノ え？

佐登子 フットボールは百年後どうなっと思う？

アサノ (ボールを足で止めて) 百年後・・・きっと全部の女学校の体操に取り入れられて、部活動も盛んになるとか思います。そしてオリンピックに、女子フットボールって種目が、できるとか思います。佐登子先輩はどうですか？ (蹴る)

佐登子 (ボールを足で止めて)・・・なくなつてと思っ

アサノ・・・え？

佐登子 智恵が、あん時言よつたよな。覚えとる？合宿の夜に、フットボールはなくなつてると思っつて。あれはな、後ろ向きな理由じゃないんよ。百年後、人類がボールを蹴る時には、男とか女とか、そういう垣根が、なくなつとんやと言いたかつたんや。女やつて、強く生きてええんや・・・つて、智恵はそう言いたかつたんちゃうかな。そう、言うて欲しかつたなあ。

佐登子、ボールを持ち、切なくも優しい声で校歌を歌い始める。

讃岐の富士の朝ぼらけ (佐登子、ボールを拾う)

丸亀沖の夕月夜

あけくれ身をばきたひつつ (アサノもここから歌う)

はげむものし吾等みな

軒端に近き城山の松の翠を吹く風に (テンポよく歌う)

心の塵を払はせていよよみがかん智を徳を

アサノ 百年後。

第十二幕 時代を超えて

全員出てくる。アサノと佐登子以外、百年後の姿。(制服)

大正・昭和・平成と、この百年を生きてきた。

レコード	双葉山	新幹線
宝塚少女歌劇	太平洋戦争	東京オリンピック
第一次世界大戦	原子爆弾	東洋の魔女
カルピス	女性参政権	ベトナム戦争
モダンガール	日本国憲法	ビートルズ
水平社宣言	太宰治	ミニスカート
関東大震災	テレビ	原子力発電
ラジオ	高度経済成長	大阪万博
エレベーターガール	石原裕次郎	あさま山荘事件
冷蔵庫	鉄腕アトム	沖縄返還

長嶋茂雄	光 GENJI	インターネット
王貞治	瀬戸大橋	ポケベル
オイルショック	バブル崩壊	同時多発テロ
ピンクレディー	育児休業法	AKB48
山口百恵	ドーハの悲劇	スマートフォン
松田聖子	阪神淡路大震災	東日本大震災
千代の富士	きんさんぎんさん	なでしこ JAPAN
ロマンチックが止まらない	携帯電話	澤穂希
おニャン子クラブ	モーニング娘。	東京オリンピック

残響が消えたら、スーツ姿の井上が登場。

佐登子 先生！百年後、百年後はどうなっているのですか？
井上 百年後・・・

音楽『THE NAME OF THE GAME』C.I.

井上 (周囲を見渡し)・・・変わったのかしら。
人々 変わったのかしら。変わったのかし おおおおおおおっ！

OP 以上にみんながエネルギーギッシュに楽しそうに踊る。
井上はボールを拾い、見つめた後、ボールを置く。
途中でダンスは足を踏み鳴らす動きに変わり、その中で佐登子とアサノはボールを蹴る。
閉幕。

※1 丸亀高等女学校校歌「讃岐の富士の」 堀沢周安作詞 若狭万次郎作曲

この作品は著作権・上演権を有します。出版・上演の際には、必ず作者に連絡の上、許可をお受け下さい。

上演許可申請先

(勤務先) ※2023年9月時点の勤務先です。

〒768-0039

香川県観音寺市茂木町四丁目2-38 香川県立観音寺第一高等学校 豊嶋了子

☎ : 0875-25-4155 (学校)

Mail: cl7837@kagawa-edu.jp (豊嶋仕事用)

(↑シーエルです)

noriwobanzai3@gmail.com (豊嶋個人)